

(5)健康・福祉・平和・人権 令和5年3月末日現在

件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
僅かな年金が出たからと言って生活保護費をカットしないでほしい件について	厚生年金も僅かしかありません。変形関節症状で特例年金が僅かに出ますが、そのせいで生活保護費をカットされる事が納得いきません。	生活保護は、生活保護法に基づき実施されており、最低限度の生活を維持するために、利用できる資産などあらゆるものを活用していただくことが前提となっております。そのため、年金等収入のある場合は、国で定められた最低生活費からその分を差し引き、生活保護費としてお渡しさせていただいております。 生活保護受給者の最低生活費の要望については、機会をとらまえ、国の関係機関にお伝えさせていただきますので、ご理解いただけますよう、お願いいたします。	2022/3/29	2022/4/18	生活福祉課
医療費助成制度について	医療費助成制度は精神障害者の等級が1級の場合のみ適用されていますが、福祉向上の観点から等級2級にも適用して、1医療機関での医療費負担を月額500円以下にはいかかでしょうか。	重度障害者医療費助成制度は、重度の障害がある方に対して、必要とする医療が容易に受けられるよう医療費の自己負担額の一部を助成する制度で、大阪府の「重度障がい者医療費助成事業費補助制度」に基づき実施しております。 助成対象につきましては、精神障害者保健福祉手帳2級所持者にも拡充してほしいとのご要望はお聞きしており、本市としましても大阪府に対し制度の拡充を要望しているところで、今後も引き続き、重度の障害がある方に必要な支援ができるよう取り組みを進めてまいります。	2022/5/30	2022/7/1	医療助成課
ラポールひらかた、駐車場の件について	障害者手帳等がなくても、リハビリ中だけでも駐車場の利用ができるよう、検討してほしいです。	総合福祉会館(ラポールひらかた)の駐車場は、総合文化芸術センターの建設工事開始にともない駐車可能台数が減少し、施設をご利用の皆様には大変ご不便をお掛けしております。 同施設は、障害者・高齢者等に対する福祉サービスの充実を図るとともに、障害者の日常的な機能訓練の場としてもご利用いただいております。そのため、駐車場は障害者手帳等をお持ちの方を優先とした運用とさせていただいておりますが、障害者手帳等をお持ちでなくても、事前申請により必要性の確認を行うなど公平性を確保しながら多くの方が施設を利用しやすいように、効率的な駐車場運営について検討してまいります。	2022/6/14	2022/8/1	健康福祉政策課
PCR検査について	市のPCR検査について、混雑緩和のためドラッグストアなどでPCR検査ができるようにしてはいかかでしょうか。	現在、新型コロナウイルス感染症のPCR検査については、大阪府におきまして、薬局等で無料の検査が受けられるようになっており、枚方市内におきましても、多数の薬局等が登録されております。しかし、無料検査の対象は無症状の方や濃厚接触の可能性がない方となっており、発熱や咳、のどの痛み等の症状が見られる方につきましては、医療機関の受診をお願いしています。 また、感染の急拡大を受け、大阪府では府内在住の20歳から49歳で発熱、咳、倦怠感等の軽症の方を対象に発熱外来を受診しなくても、自宅や無料検査センターで実施した検査の結果が陽性となった場合は、オンライン診療により解熱剤等の処方が可能となりました。(令和4年8月17日時点)	2022/7/25	2022/8/17	保健医療課
障害者対応について(日常生活用具給付)	ストマを利用しています。ガーゼを認めてもらいたいです。1000円以下の繰り越しを半年以内で認めてもらえれば助かります。	日常生活用具の給付事業の一つとしてサージカルテープや固定ベルトなどのストマ装具の給付を行っておりますが、ガーゼにつきましては、汎用性が高いことから現在は支給対象から除外させていただいております。 2019年に大阪府より、繰り越し禁止などの注意喚起が行われたことを受け、支給対象品目を明確化してまいりました。ストマ装具は、消耗品という性質から、使用せずには捨てている品目がある場合には、次月に使用することが可能であるため、適正な運用を行う観点から、実際の納品額や納品内容を確認させていただいております。 また、給付上限額につきましては、物価上昇等をふまえて国より改定する旨の通知があった場合には、近隣市とのバランスを考慮しつつ調整、改定の判断を行っております。今後、本市としましても、国・府に対して機会をとらまえ要望してまいります。	2022/8/4	2022/9/30	障害企画課
LGBT、特にトランスジェンダーへの施策について	トランスジェンダーにとって、体育施設やプールなど公共施設の利用の際に一番の悩みは「更衣室」の問題です。市の体育施設やラポールにある温水プールなどを積極的に利用したいと思っても、男女別の更衣室しかないようです。他市などでは「多目的更衣室」を設置されていることも増えましたが、今後、枚方市でも対応を検討されていくのでしょうか。	LGBTなどの性的マイノリティの方々は、日常生活を送る上で、さまざまな困難に直面されています。すべての人の人権が尊重されるまちづくりを実現するための取り組みの一つとして、現在、トランスジェンダーの方が更衣室等を利用される場合には、ご希望や個別の事情をお伺いしながら、個々に対応策を検討させていただいておりますが、職員が適切な対応が行えるよう人材育成にも努めているところです。 今後は、いただいたご意見も参考に、施設の新設や改修の際には、誰もが利用しやすい施設づくりを目指してまいります。	2022/9/5	2022/9/29	人権政策室

(5)健康・福祉・平和・人権 令和5年3月末日現在

件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
市による終活登録・エンディングサポート事業について	孤立する人たちの安否確認、必要なサポート、死後事務委任契約のサポート・確認を市としてトータルサポートしている仕組みを作れないでしょうか。	<p>本市では、一人暮らしの高齢者への支援として、急病時等に消防署や相談センターへ連絡できる緊急通報装置の貸与や定期的な安否確認の連絡、ごみ収集サポートなど、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでおります。終活支援としても、「もしものときの備え」について周囲の人達と話し合うためにご活用いただく「エンディングノート」や「人生会議まるわかりガイド」を配布するとともに、医師会と連携し、終活に関する講演会などを実施しているところです。</p> <p>しかしながら、一人暮らしや親族が近くにいない方などにとっては、ご自身の終活について話し合う機会を持つこと自体が難しく、記入したエンディングノートをどのように保管しておけば良いか、などのお悩みをお持ちの方もおられること存じます。今後は、そういった方々のご不安にも対応していけるよう、他市の事例なども参考にしながら、関係機関との連携に努めてまいります。なお、高齢者に関わる総合的なサポートは、市内13か所の地域包括支援センターにて実施しておりますので、お気軽にご相談ください。</p>	2023/3/2	2023/3/27	長寿・介護保険課 健康福祉総合相談課